

発行所 広島県自治体労働組合総連合

〒730-0051 広島市中区大手町4丁目2-27中央レジデンス405号

TEL 082-243-9240/E-mail hjrouren@urban.ne.jp

FAX 082-243-9241/ホームページ http://urban.ne.jp/home/hjrouren/

編集・発行 広島自治労連教育宣伝部

定価 1部10円 組合員の購読料は組合費に含まれています



被爆・戦後80年

写真左：広島自治労連の呼びかけに応じていただいた公務公共で働く仲間のみなさんから届いた9465羽の折り鶴で作成した「折り鶴ボード」と折り鶴の束。

撮影 2025/8/7

「今こそ平和核廃絶を」
「折り鶴に託された願い実現を、公務公共で働く仲間とともに」



8月4日、原爆ドーム前、国民平和大行進集結集会

被爆・戦後80年
広島自治労連から二つの
お願いを行いました

広島自治労連は、「被爆・戦後80年」の節目の年に、各単組に二つのことをお願いしました。

一つは定期大会・総会の場で短時間で構わないから「平和の時間」を設け、平和のことを考えたり協議してほしい、二つ目には公務公共で働く仲間のみなさんに「折り鶴プロジェクト」と題して、「ひとり一羽の折り鶴」作成を呼びかけました。

単組の大会・総会では、

1958年にスタートした「国民平和大行進」、今年には自治労連本部作成「全国リレー旗」に各地方組織・単組の仲間が平和のメッセージを書き、11コースをつなぎながら、8月4日には広島市原爆ドーム前、8月6日には長崎市長山公園に集結しました。

節目の年ということから初めて行進に参加した仲間は、暑いながらもさわやかな汗をぬぐっていました。

呉市の行進では事前に行進を知らせるチラシ・署名用紙・カンパ袋が戸別配布されており、50人を超える方がご自宅の前でカンパを持って行進団を待つ姿に、核兵器廃絶の願いを

被爆証言の伝承を聞いた、原爆パネルの展示、新日本婦人の会広島県本部発行「木の葉のように焼かれて」の朗読等が取り組まれ、ひと時ではあっても平和を考える時間が共有されました。

また、折り鶴については「核兵器廃絶を願う」9465羽が届き、折り鶴ボード（90cm×90cm×3枚）と、糸でつないだ束を完成することができました。みなさん、ありがとうございます。

自治労連作成「国民平和大行進 全国リレー旗」

8月6日（水）9時から広島市役所正面の碑の前で、自治労連主催の広島市職員慰霊献花行動が行われ、桜井中央執行委員長は「戦時中、公務員は自分の気持ちに反して戦争協力した結果、原爆が落とされた犠牲になられたことは無念で仕方ない、

感じました。

8月4日〜6日に広島市内で開催された「原水爆禁止2025世界大会」では、例年以上に被爆の実相が語られ、主催者から「被爆の体験と実相を受け継ぎ、広げることが運動の中心にすえよう。核兵器廃絶を共通課題とする行動を世界各地で多様に繰り広げよう」と呼びかけました。

右の二次元QRコードから各地の平和行進を見ることが出来ます

2025人事院勧告 全世代の賃上げ勧告も物価高騰には見合わない 働きがいと魅力ある職場づくりへ闘おう

<本年の給与勧告のポイント>

- 月例給：民間給与を15014円（3.62%）下回るとして、若年層に重点を置きつつ、その他の職員の俸給表を引き上げ改定する。平均改定率は3.3%。
- 初任給
総合職(大卒):+12000円(+5.2%)
一般職(大卒):+12000円(+5.5%)
一般職(高卒):+12300円(+6.5%)
- 一時金:0.05月(再任用職員も0.05月)を期末・勤勉手当で等分に引き上げる。

8月7日、人事院は国会と内閣に対し

て、国家公務員の給与改定に関する勧告と報告を行った。

ポイントは左記の通り。今回の引き上げは、春闘を起点に公務と民間の仲間が共同で闘い、比較対象規模を「50人以上」から「100人以上」に戻すとともに、全世代の賃上げ要求を一定反映したが、物価高騰にも生活改善にも追いつかない。中高年層や再任用職員の賃金水準は低く抑えられたままである。また、今年も非常勤職員についての言及は一切なく、雇用の安定化につながらない実態の改善が急がれる。

秋の闘いでは、組合を大きくしながら、住民の福祉向上のために、公務公共労働者が希望と意欲を持てる賃金水準への改善を求めよう。

職員のみなさんのご冥福を祈ります。戦争も核兵器もない世界を実現しよう」とあいさつしました。

広島自治労連は、10月の第36回定期大会に向けて、これからの「核兵器廃絶・戦争反対・憲法を守りいかす」運動について議論を進めていきます。

広島自治労連第36回定期大会
日時 10月19日(日)11時~17時
11時~12時:学習会「聞いて 知って 私たちの仕事」
12時45分~17時:定期大会
会場 広島ロードビル・オンライン併用
東区光町2-9-24 3F
議題 経過報告、運動方針提案、決算・予算等
★各単組、補助組織から発言をお願い致します。

第20回
ひろしま
給食まつり



子どもたち、保護者の笑顔が力に

盛りだくさんの コーナーに大満足

当日は学校給食を食べるだけでなく、紙芝居、風船、野菜の皮むき、給食クイズ、釜混ぜ体験、調理器具の展示、絵本の読み聞かせ、豆つかみ、さかなつり、ぬりえ、ボウリン



「子どもたちの笑顔とともに、それを見守る保護者の方の笑顔に、また頑張ろう！と力をもらいました」というメールが届き、大変だけれどやっけてよかった！これからも続けていきたい！と、思える宝物のような一日となりました。

7月27日(日)、安佐北区の高陽公民館で第20回ひろしま給食まつりが開催され、小学生や保護者たち450人が来場しました。10時の開会を前に多くの市民が来場し、給食チケットを求めて長蛇の列となりました。

保護者や子どもたちから率直な感想

見や、小学生からは『夏休みに給食を食べることができて、嬉しかった』と笑顔になりました。『思わずこちらからも笑みがこぼれるような感想もいただきました。』

宝物のようない日

スタッフからは、『子どもたちの笑顔とともに、それを見守る保護者の方の笑顔に、また頑張ろう！と力をもらいました』というメールが届き、大変だけれどやっけてよかった！これからも続けていきたい！と、思える宝物のような一日となりました。

広島自治労連連続学習会 「聞いて 知って 私たちの仕事」最終回・第11回 公務公共労働者は「職人」であり、「専門職」である

7月17日(木)、連続学習会「聞いて知って 私たちの仕事」最終回・第11回が会場・オンライン併用で開催、会場14名、オンライン26名の40名が参加しました。



広島市職労食肉市場
支部役員 藤井邦夫さん

まず広島市職労食肉市場支部役員藤井邦夫さんが、広島市西区草津港にある食肉市場についてお話ししました。業務で使用しているナイフや屠畜で使用する機械等、多数の写真と共に解説しました。



広島自治労連
小川未来書記次長

第27回参議院選挙の結果を受けて すべての働く者の要求実現が可能な政治を求めて奮闘しよう 全労連 黒澤幸一事務局長談話(抜粋)

7月3日公示・20日投票で行われた第27回参議院選挙は、昨秋の衆議院選挙に続き、自民党・公明党の議席数が過半数を下回る結果となり、衆議院に続き、参議院でも少数与党となった。他にも、投票率が上がり58・51%(前回3年前の選挙より6・46ポイント増)となったこと、女性の当選者が42人と過去最多となったこと、沖縄選挙区で「オール沖縄」の議席を守り抜いたことなど、今後のたたかいを見据えていく上で展望もある。

得票を伸ばす結果となり、今後の進むべき方向という点では重大な問題である。海外メディアからも、「『日本人ファースト』の政党が厳しい移民政策を掲げて選挙で台頭」、「極右が初めて政治のステージに」等と報じられた。

これは、労働組合や地域の人々との対話と学びあいにより、つながりを取り戻すことでしか達成できない。自公政権とその補完勢力、排外主義・極右的潮流に正面から対決し、すべての働く者の要求実現、いまを生きる私たちの願いに込められる政治を求めて、声をあげて変えよう。

以上

広島市動植物公園職労

7月6日(日)、安佐動物公園食堂バクバクで、第35回定期総会を開催。当局への要求として動物公園でのクマ出没対策の早期実現、IT専門職員配置による業務効率化などを新たに明記。総会では、36協定や、職員配置、欠員に関し関連な意見交換が組

広島県福祉業団労組

7月19日(土)に現地15名、オンライン34名の参加で第53回定期大会を開催しました。委員長挨拶では、明日の参院選挙に行き投票する事も組合活動。ぜひ、足を運んで下さい。また、今年は被爆80年節目の年でもあり、少しでも良い

広島市職労

7月13日(日)、第113回定期大会で柴野執行委員長が熱中症対策や貧困問題への対応を訴え、木下書記長はケア労働の質上げの必要性を提起。職場からの発言では、環境局からは委託化が進む中で課題と組合員の組織化と支部活動の団結、保育現場

広島市ひとまち労組

7月29日(火)、30周年記念総会を広島アンデルセンで開催しました。始めに原爆手記「木の葉のように焼かれて」を朗読し、今まさに戦争に向かわないよう強い誓いを分かち合いました。総会では指定管理料不足で公民館等の事業ができないほどの節約

広島市会計労組

7月29日(火)、第17回定期大会を開催。消費生活センター、学校給食調理員、認定調査員等が参加。亀井執行委員長が経過報告、運動方針では会計年度任用職員の昇給改善や退職金制度を作ろうと提案しました。複数の職場から現場の報告があり、

合員から上がり、私たちも一層、気を引き締められました。来賓の広島自治労連中石執行委員長は、閉会まで私たちの議論に耳を傾けて、そして意見をくださり、本当に皆が決意を新たにできる良い会になりました。

ので平和について興味関心を持ち、考えてみようと呼びかけました。議案は全て承認され、質疑応答では、現地から2件と事前に書面にて届いていたもの2件(質問事項計10項目)について執行部から回答があり、活発な定期大会となりました。

からは制度導入時から続く会計年度職員の欠員問題、正規職員削減の課題、学校給食現場の暑さ対策、学校業務員からは学校で唯一の環境整備専門職として自覚と責任をもち働ける労働環境を求める等を報告。全議案は採択され、要求実現へ団結を確認。

を強いられている現状を、市に訴えていこう、職場アンケートに協力して欲しいと訴えました。30周年記念メッセージ集を総会に合わせて発行し、これまでの運動の継続を感謝し、次の10年も頑張ろうと確認し、閉会しました。

今後の改善のため、今秋から始まる要求書の提出特にしっかり現場の声を伝えていくことが大切だ、と意思統一しました。全ての提案が採択され、その後は参加者が昼食弁当を食べながら交流しました。

単組の定期大会・総会で運動の前進へ意思統一